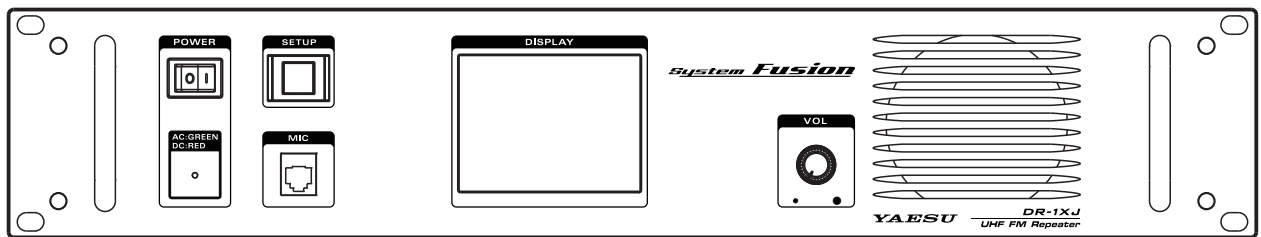


**YAESU**  
The radio

*System Fusion*

**DR-1XJ** UHF FM Repeater

取扱説明書



製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります。

この取扱説明書に記載の社名・商品名等は、各社の商標または登録商標です。

# 目次

はじめに.....	1	各種設定.....	18
タッチパネルについて.....	1	セットアップメニューの基本操作.....	18
登録商標および著作権について.....	1	リモート機能のオン/オフ (REMOTE) ...	18
本書の読みかた.....	1	送信禁止のオン/オフ (TX INHIBIT).....	18
安全上のご注意.....	2	ID (コールサイン) の入力 (ID SET).....	18
電波を発射する前に.....	4	自動で画面表示をオフにする (DISPLAY TIMER) ...	19
設置と接続方法.....	5	連続送信可能時間の設定 (TOT) .....	19
設置上のご注意.....	5	スケルチ開閉レベル差の設定 (SQL HYSTERESIS) ...	19
DR-1XJ の設置例.....	5	DOWN LINK 送信停止タイミングの設定 (SQL TAIL LENGTH)....	20
アースについて.....	6	ID (コールサイン) のアナウンス モード設定 (ANNOUNCE MODE) ...	20
アンテナ / 同軸ケーブルについて.....	6	ID (コールサイン) のアナウンス レベル設定 (ANNOUNCE LEVEL) ...	21
アンテナの接続.....	6	CW ID の送出スピードの設定 (CW ID SPEED) ...	21
電源の接続.....	7	ID (コールサイン) のアナウンス 送出間隔の設定 (INTERVAL) ...	21
バックアップ電源の接続.....	7	変調レベルの設定 (DEVIATION).....	22
パネル面の説明.....	8	トーン周波数の設定 (TONE SQL FREQ) ...	22
背面の説明.....	9	DCS コードの設定 (DCS CODE).....	22
ディスプレイの説明.....	10	トーン / DCS の切り替え (RX SQL/TX SQL) ...	22
初期画面 (レピータモード).....	10	ボーレート (通信速度) の設定.....	22
セットアップ画面.....	10	WIRES-X モードへの切り替え.....	23
セットアップメニュー画面.....	11	リセット操作.....	23
基本操作.....	12	ボイスガイドユニット FVS-2 の装着.....	24
本機の電源をオン / オフする.....	12	アフターサービスについて.....	25
受信 (アップリンク) 音量を調節する.....	12	定格.....	26
ID (コールサイン) を登録する.....	12	その他.....	27
周波数を設定する.....	13	「レピータ装置変更用工事設計書」について... 27	
スケルチを設定する.....	13	「レピータ局、アシスト局の公衆網との 接続に関する届書」について ... 27	
送信出力の設定.....	13		
リモート操作.....	14		
リモート操作のオン / オフ.....	14		
応用操作.....	16		
ディスプレイの表示をオン / オフする.....	16		
ベースステーション.....	16		
送信禁止のオン / オフ.....	16		
外部からの送信禁止のオン / オフ.....	17		
オン / オフ制御コードの登録.....	17		

## 付属品

AC 電源ケーブル.....	1
DC 電源ケーブル (ヒューズ付).....	1
予備ヒューズ (5A/10A).....	各 1
PC コネクションケーブル (SCU-20).....	1
ケースレグ (脚).....	4
取扱説明書 (本書)	
保証書	

## オプション

DTMF マイクロホン	SSM-85D
マイクロホン	MH-42C6J
ボイスガイドユニット	FVS-2

## タッチパネルについて

### ●タッチパネル使用上の注意

タッチパネルを指で軽く触れると動作するように設計されています。

- ◎ 液晶保護フィルムやシートを貼ると、タッチパネルが動作しないことがあります。
- ◎ 爪やペンなど先のとがったもので操作したり、必要以上の力で強く押ししたりしないでください。タッチパネルの傷や故障の原因になります。
- ◎ スマートフォンのようなフリック操作、ピンチイン、ピンチアウト操作はできません。

### ●タッチパネルのお手入れ

- ◎ タッチパネルに付いたホコリや汚れを清掃するときは、本製品の電源を切ってから乾いたやわらかい布でふいてください。  
なお、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。  
ガラスクリーナー、家庭用洗剤、有機溶剤、アルコール、研磨剤などを使用すると、TFT 液晶ディスプレイに傷が付く恐れがあります。
- ◎ タッチパネルをふくときは、力を入れすぎたり、爪で引っかいたりしないように、ご注意ください。  
タッチパネルに傷が付くと、表示が見つらくなります。

### TFT ディスプレイについて

DR-1XJ のタッチパネルは、TFT 液晶ディスプレイを使用しています。

- ◎ TFT 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、液晶パネル内に画素欠け（黒点）や常時点灯する点（輝点）が存在することがあります。  
これは、TFT 液晶ディスプレイの製造技術の限界によるものですので、製品の欠陥や故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ◎ 見る角度によって、色ムラや明るさのムラが発生することがありますが、TFT 液晶ディスプレイの構造によるものですので、製品の欠陥や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

## 登録商標および著作権について

本書に記載されている会社名、製品名などは、各社の商標および登録商標です。

八重洲無線株式会社の著作物の全部または一部を無断記載、複写およびあらゆる方法による複製を禁止します。

## 本書の読みかた

本書では、DR-1XJ を「本機」と表記しています。

本書では、フロントパネルでの操作を次のように表記します。

- [○○] を押す ..... キーやスイッチを短く押すことを示します。
- [○○] を 1 秒以上押す ..... キーやスイッチを 1 秒以上押すことを示します。
- [○○] にタッチする ..... タッチパネル画面に短く触れることを示します。
- [○○] に 1 秒以上タッチする ..... タッチパネル画面に 1 秒以上触れることを示します。
- [○○] を選ぶ ..... 項目をハイライト表示させることを示します。

また本書では、次のような表記も使用します。

**注意**

運用するときに、注意していただきたい内容を説明します。

**参考**

操作上のアドバイスや知っておくと便利なことを説明しています。




製品改良により、本書の図面などが一部製品と異なる場合があります。  
あらかじめご了承ください。

# 安全上のご注意



本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。





## マークの種類と意味

-  **危険** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者および周囲の人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者および周囲の人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者および周囲の人が障害を負う可能性が注意想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。












## 図記号の種類と意味

-  本機を安全にお使いになるために、行ってはならない禁止事項です。図の中や近くに具体的な禁止内容 (⊘) の場合は分解禁止) が描かれています。
-  本機を安全にお使いになるために、必ず守っていただきたい注意事項です。図の中に具体的な指示内容 (⊙) の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。







## ⚠ 危険

-  病院内や医療用電子機器の近くでは使用しないでください。医療用電子機器に影響を与える場合があります。
-  雷が鳴り出したら、早めに本機の電源スイッチを切り、電源コードとアンテナケーブルを本機から外してください。雷によっては、火災や感電・故障の原因になります。
-  引火性ガスの発生する場所での運用は行わないでください。火災、爆発の原因になります。
-  液晶ディスプレイから漏れている液などに素手で触れないでください。皮膚に付着したり、目に入ると化学火傷を起こすおそれがあります。この場合、直ちに医師の診断を受けてください。

## ⚠ 警告

-  本機を改造しないでください。また、本書に記載のない方法で分解しないでください。火災や感電・故障の原因になります。
-  送信中にアンテナにふれないでください。火傷やケガ等の原因になります。
-  ガス管や配電用のコンジットパイプなどにアースを取らないでください。爆発・火災・感電・故障の原因になります。また、アースは市販のアース棒や銅板を使用してください。
-  煙が出ていたり、変な臭いがするときは電源をオフにする、または電源ケーブルをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店または当社カスタマーサポートにご連絡ください。
-  濡れた手で電源ケーブルのコネクターを抜き差ししたり、機器に触れたりしないでください。感電やケガ等の原因になります。
-  指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になります。
-  付属品以外の電源ケーブルで市販の直流電源に接続しないでください。火災や感電・故障の原因になります。
-  アースを確実に取り付けてください。感電やテレビ・ラジオへの電波障害になる原因になります。
-  電源プラグのピン、およびその周辺はいつもきれいにしておいてください。火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。
-  長時間の連続送信はしないでください。長時間にわたり送信すると故障の原因になります。また、本機の上面や側面を触れると、やけどの原因になります。
-  水などで濡れやすい場所（加湿器のそばなど）に設置しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
-  付属品やオプション以外の電源ケーブルを使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。

# 安全上のご注意

-  DC 電源ケーブルを接続するときは、+（プラス）と-（マイナス）の極性を間違えないように十分注意してください。  
火災・感電・故障の原因になります。
-  電源コードの上に重い物を載せたり、無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。  
電源コードが傷つき、火災や故障の原因になります。
-  電源ケーブルや接続ケーブルを抜き差しするときは、ケーブルを引っ張らないでください。  
火災・感電・故障の原因になりますので、プラグまたはコネクタを持って抜いてください。
-  DC 電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。  
ショートして発火や火災などの原因になります。
-  指定以外のヒューズを使用しないでください。  
火災や故障の原因になります。
-  オプションを組み込む前やヒューズを交換する前に、電源ケーブルや接続ケーブルを外してください。  
火災・感電・故障の原因になります。
-  オプションを組み込むときやヒューズを交換するときは、説明と異なる取り付けをしないでください。  
火災・感電・故障の原因になります。
-  オプションの取り付けに使用するビスは、必ず指定サイズのものをご使用ください。  
サイズの異なったビスを使用すると、火災や感電・故障の原因になります。
-  本機を押し入や本棚などの、風通しが悪く狭い場所に押し込まないでください。  
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
-  本機をジュウタンや布団の上に置かないでください。  
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
-  万一、内部に異物が入った場合には、すぐに本機の電源スイッチを切り、本機を電源から外してください。  
そのまま使用すると、火災や故障の原因になります。

## ⚠ 注意

-  本機をぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。  
落ちたり倒れたりして、ケガの原因になることがあります。
-  本機の上に重い物を置かないでください。  
落ちたり倒れたりして、ケガの原因になることがあります。
-  本機の上に花瓶・化粧品・コップなどの、水の入った容器を置かないでください。  
こぼれたり中に入った場合、火災や故障の原因になります。
-  本機の上にクリップなどの小さな金属物を置かないでください。  
中に入った場合、火災や故障の原因になります。
-  無線中継装置の近くでは使用しないでください。  
業務無線通信に、妨害を与える場合があります。
-  シンナーやベンジンなどでケースを拭かないでください。  
ケースの汚れは、やわらかい乾いた布で拭き取ってください。
-  本機を湿気やホコリの多い場所に置かないでください。  
火災や故障の原因になります。
-  本機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。  
ケガや故障の原因になります。
-  長期間で使用にならない場合には、安全のため、本機の電源スイッチをオフにするとともに、電源コードを電源から外してください。
-  むやみに内部に触れないでください。オプションの取り付け時以外は、お手を触れないでください。
-  オプションの取り付けなどで、本機の内部に触れるときには、電源コードを本機から外してください。  
故障や感電の原因になります。
-  オプションの取り付け時には、シャーシの角などでケガをしないよう十分ご注意ください。
-  本機を移動させるときには、電源コードを本機から外すとともに、アンテナケーブルや周辺機器などを接続している全てのケーブルを外した上で行ってください。
-  磁気カードやビデオテープなどは本機に近づけないでください。  
キャッシュカードやビデオテープなどの内容が、消去される場合があります。
-  本機を直射日光の当たる場所や熱器具の付近に置かないでください。  
変形・変色などの原因になります。
-  本機の上面や側面に触れないでください。  
長時間使用すると、上面と側面の温度が高くなります。触れるとやけどの原因になることがあります。
-  テレビやラジオの近くに設置しないでください。  
妨害電波を与えるまたは受けたりすることがありますので充分離してください。
-  外部アンテナはテレビアンテナや電灯線からなるべく離してください。  
妨害電波を与える場合があります。
-  当社指定のオプション以外の製品は使用しないでください。  
故障の原因になることがあります。

# 安全上のご注意

---

---

## 電波を発射する前に

---

アマチュア局は、自局の発射する電波が、テレビやラジオの受信に障害を与えたり、障害を受けている、との連絡を受けた場合はただちに電波の発射を中止し、障害の有無や程度を確認してください。

### 参考 無線局運用規則 第8章 アマチュア局の運用

第 258 条 アマチュア局は、自局の発射する電波が他の無線局の運用又は放送の受信に支障を与え、若しくは与えるおそれがあるときには、すみやかに当該周波数による電波の発射を中止しなければならない。(以下省略)

---

障害が自局の電波によるものと確認された場合、無線機、アンテナ系を点検し障害に応じて、お買いあげの販売店または、当社カスタマーサポート(電話：0570-088013)に相談するなどして、適切な処置を行ってください。

受信側に原因がある場合、障害対策は単に技術的な問題に止まらず、ご近所付き合いなどで、むずかしい場合もあります。

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟(JARL)では、電波障害の対策と防止についての相談窓口を開設しておりますので、対策にお困りの場合はご相談ください。

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟(JARL)

〒170-8073

東京都豊島区南大塚 3-43-1 大塚 HT ビル 6 階

TEL 03-3988-8754

## 設置上のご注意

本機を設置するときは、次のことにご注意ください。

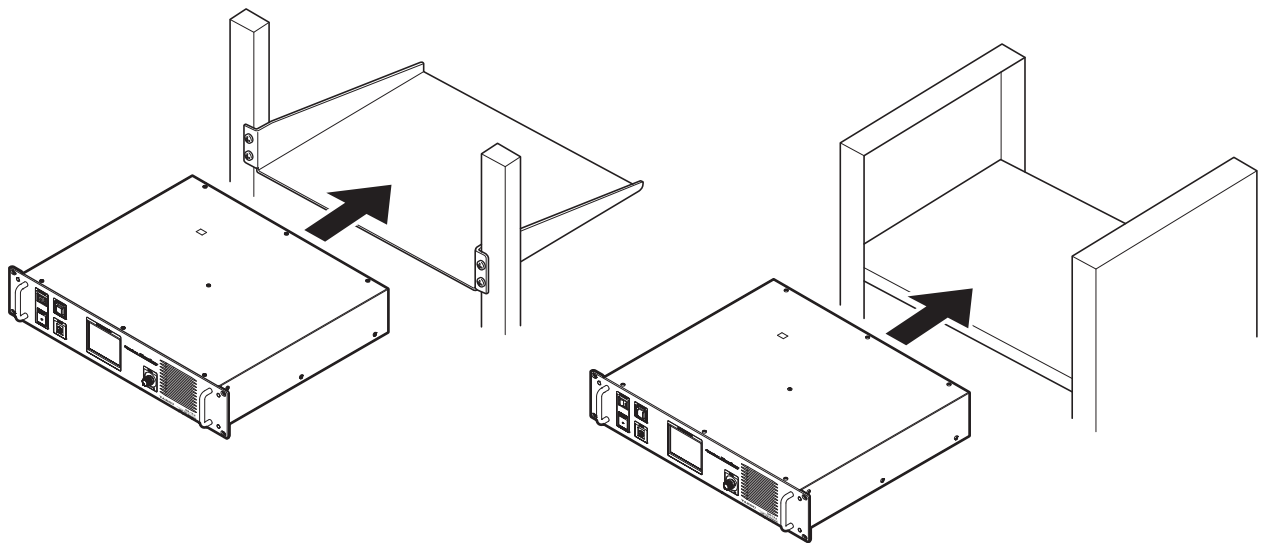
- ◎ 直射日光の当たる場所や熱器具の付近に置かないでください。
- ◎ 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
- ◎ 風通しが悪いところで長時間送信すると本機本体の温度が上昇しますので、放熱の妨げにならないよう設置場所を選んでください。
- ◎ ぐらついた台や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
- ◎ テレビやラジオの近くに設置すると、ノイズを受けたり TVI や BCI の原因となることがありますので、できるだけ本機やアンテナを離して設置してください。
- ◎ 電源コードの上に重いものを載せたり、電源コードを無理に曲げたり引っ張ったりすると断線する恐れがあります。
- ◎ 外部アンテナはテレビアンテナや電灯線からなるべく離してください。

## DR-1XJ の設置例

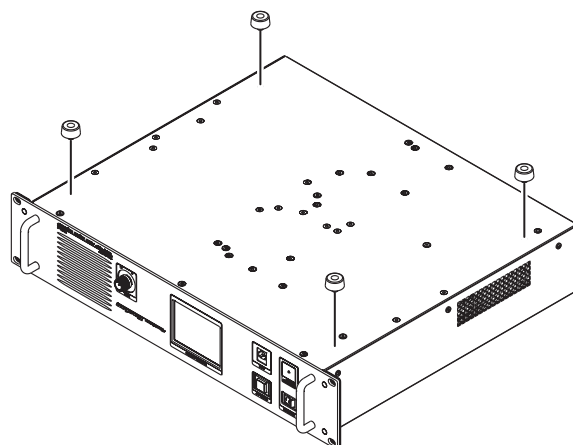
本機の底面を下にして、平らなラックなどに設置してください。

**注意** 本機の重量は約 10kg です。設置の際は本機の重量に耐えられるものを使用してください。

本機のフロントパネル部を、ボルトなどでラック（19 インチ）に固定することを推奨します。



本機を机の上などに据え置いて使用する場合は、下図を参考に付属の脚（4本）を本機の底面に取り付けてください。



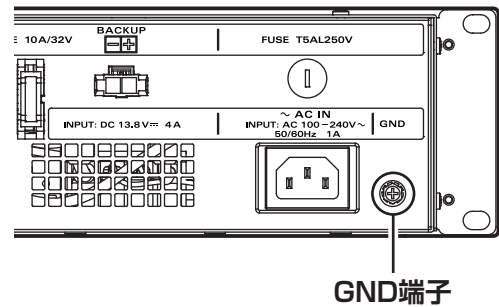
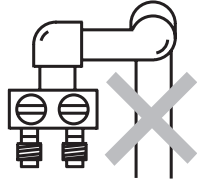
# 設置と接続方法

## アースについて

感電事故を未然に防ぐため、またスプリアス輻射を少なくして質の高い電波を発射するためにも、良好なアースをとることは大切なことです。

市販のアース棒や銅板などを地中に埋め、十分に太い銅線を使用して、できるだけ最短距離で本体背面の GND 端子に接続してください。

**注意** ガス配管や配電用のコンジットパイプなどは、爆発などの事故防止のため、絶対にご使用にならないでください。



## アンテナ / 同軸ケーブルについて

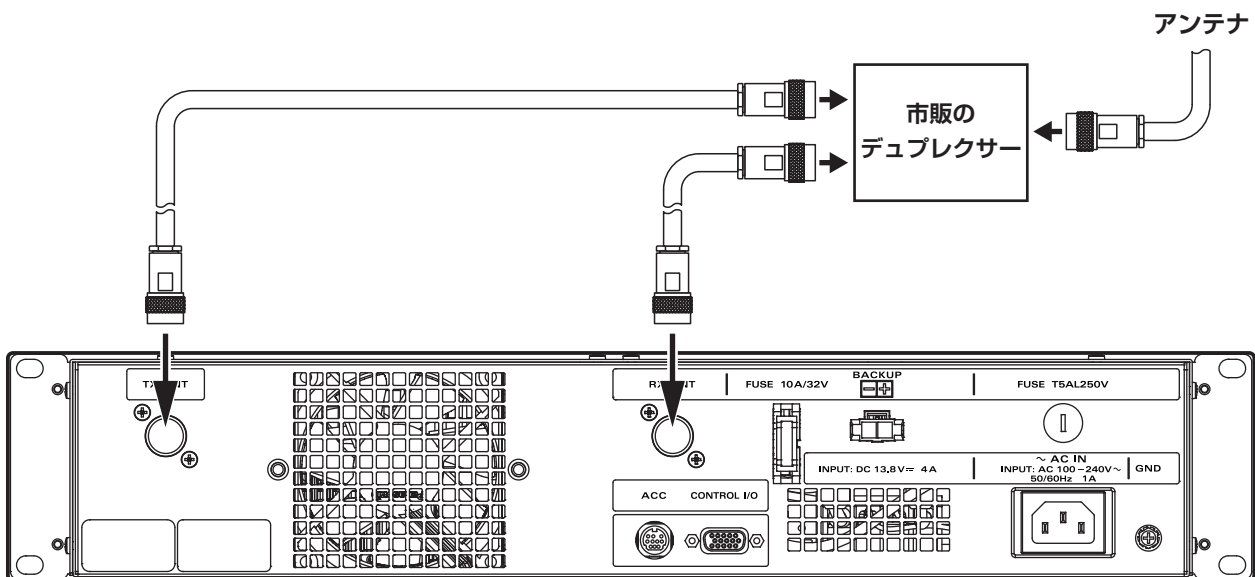
本機は、50 Ωのアンテナに整合するように設計してありますので、本機とアンテナを結ぶ同軸ケーブルは、50 Ωの良質な同軸ケーブルをご利用ください。

本機のパフォーマンスに大きく影響しますので、アンテナ・同軸ケーブル・デュプレクサーと本機の間をの整合を確実にとり、SWRが1.5以下になるように調節してください。

- 注意**
- ◎ アンテナは非常に高い電圧になることがありますので、人体などに容易に触れることがないように設置してください。
  - ◎ アンテナを通常人が出入りできるような場所屋上やベランダなどに設置する場合は、その高さが人の歩行、その他起居する平面から2.5m以上となるように設置してください（電波法施行規則 第25条参照）。
  - ◎ アンテナが倒れたり、強風で飛ばされないように、支線の張り方や固定補助など配慮して設置してください。

## アンテナの接続

下図を参考に、デュプレクサーとアンテナを接続してください。

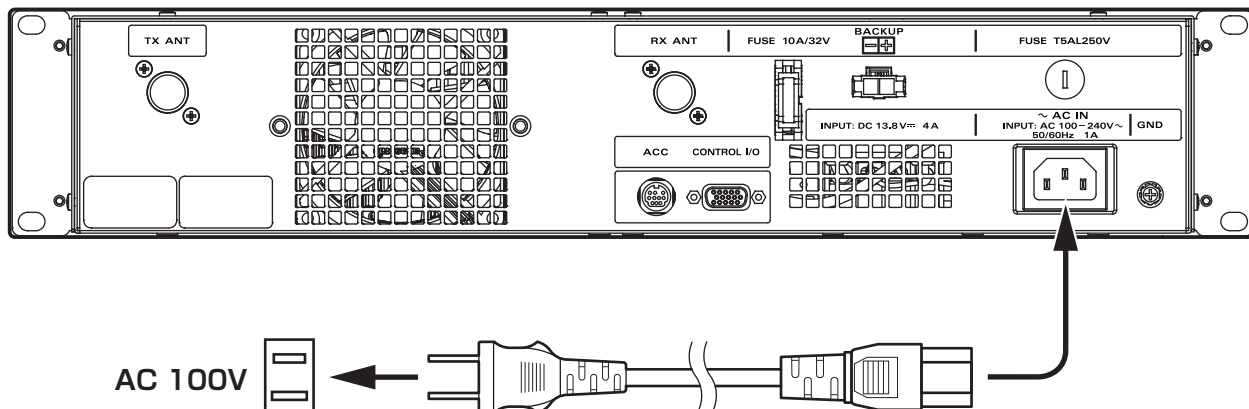


- 注意**
- ◎ デュプレクサーは、送信・受信の相互干渉がないもの（減衰量 90dB 以上）を使用してください。
  - ◎ 落雷に備え、市販の同軸避雷器を使用するようにしてください。



## 電源の接続

付属の AC 電源ケーブルを使用して、本機を AC100V に接続してください。



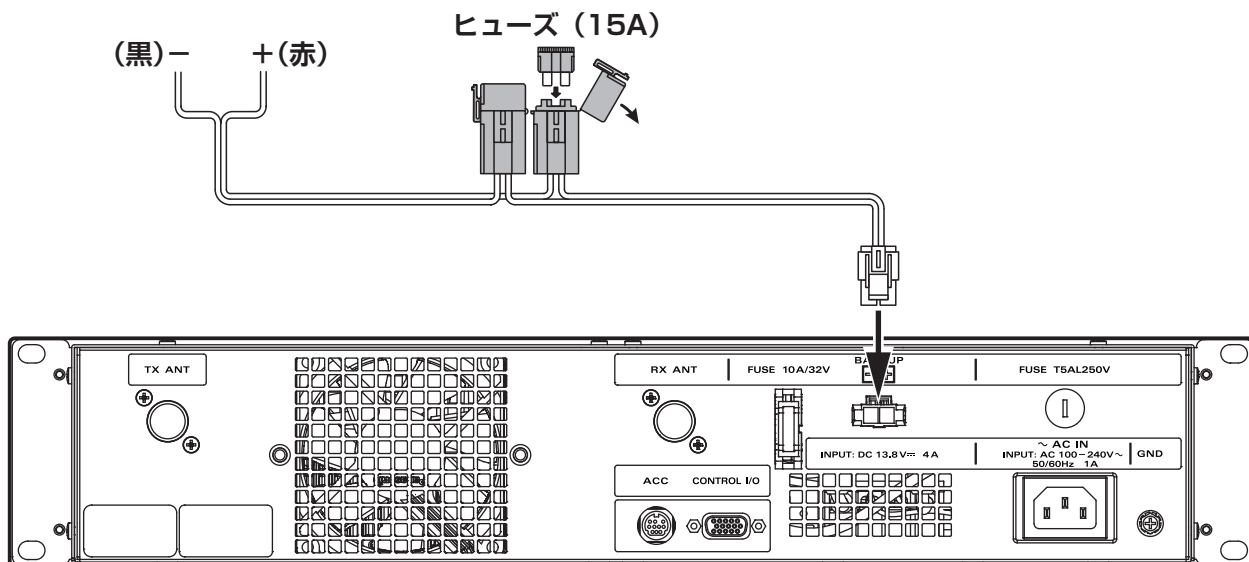
### バックアップ電源の接続

停電などで AC 電源が停止した場合でも、本機を動作させることができます。

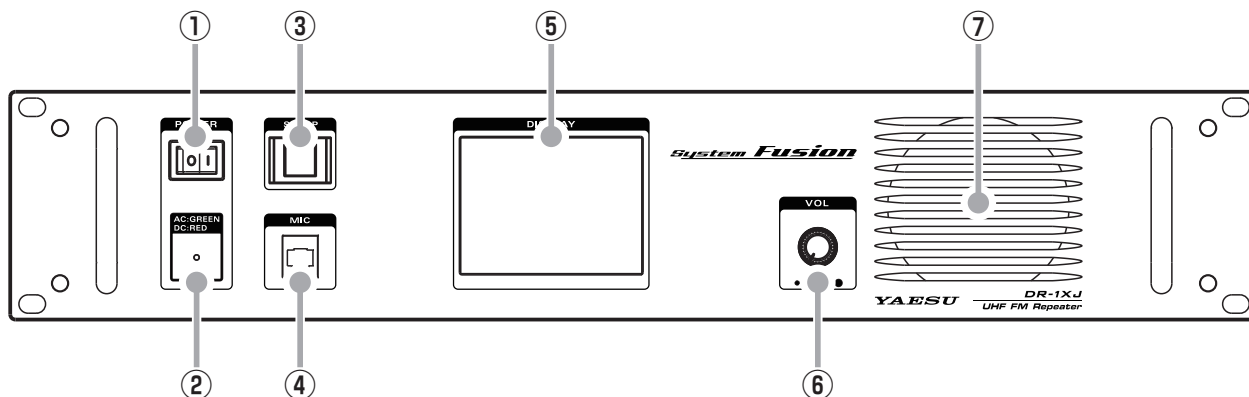
背面の BACKUP 端子にバックアップ電源（充電式バッテリーなど）を接続することにより、AC 電源が停止すると自動的にバックアップ電源に切り替わります。

バックアップ電源で動作している間、本機は送信中に 13.8V で約 5A を必要とします。

- 注意**
- ◎ バックアップ電源は直流 13.8V、電流容量 10A 以上の電源を使用してください。
  - ◎ 接続する前に必ずバックアップ電源の電源を切ってください。
  - ◎ バックアップ電源への接続は、必ず付属の DC 電源ケーブルを使用し、赤色線を電源のプラス (+) 端子に、黒色線を電源のマイナス (-) 端子に接続してください。
  - ◎ AC 電源が回復すると、DC 起動電流（突入電流）によって保護ヒューズが切断される場合があります。



# パネル面の説明



## ① 電源 (POWER) スイッチ

“I” 側にすると、本機の電源がオンになります。  
“O” 側にすると電源がオフになります。

## ② 電源インジケータ

本機に供給されている電源の種類を表示します。  
緑色 : AC IN ジャックに接続された AC 100V  
の電源  
赤色 : BACKUP 端子に接続されたバックアップ電源

## ③ SETUP ボタン

ディスプレイの表示をオン・オフすることができます。  
1 秒以上押しとディスプレイの表示が消え、  
タッチ操作も無効になります。  
再度 3 秒以上押しとディスプレイの表示が点灯し、  
タッチ操作も有効になります。

## ④ MIC 端子

オプションのマイクロホンを接続すると、直接本機から送信することができます。

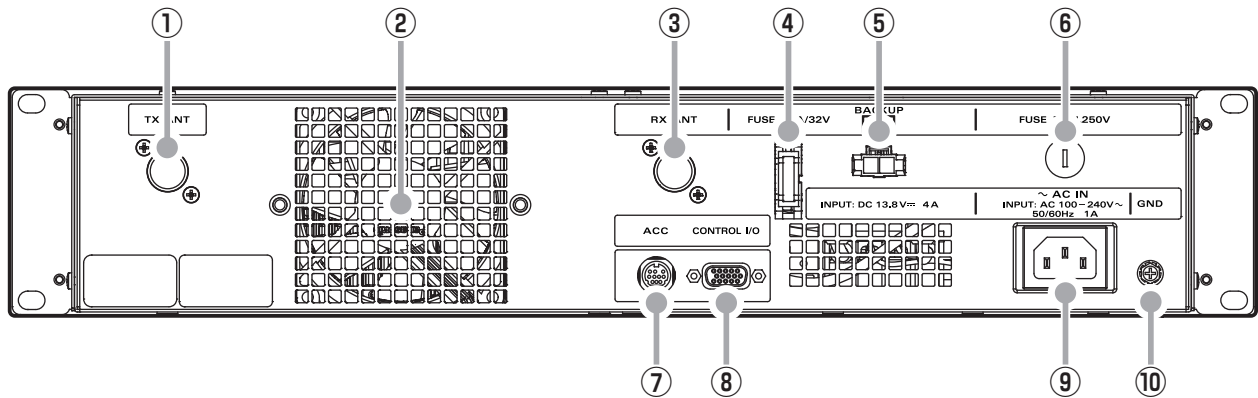
## ⑤ ディスプレイ

周波数表示や設定値を表示するタッチパネルディスプレイです。

## ⑥ VOL ツマミ

受信 (アップリンク) 音量を調節するつまみです。時計回りにまわすと音量が大きくなります。

## ⑦ スピーカー



## ① 送信用アンテナコネクタ (TX ANT)

市販のデュプレクサーまたは、送信周波数に適合したアンテナを接続します。

**注意**

デュプレクサーは、送信・受信の相互干渉がないもの（減衰量 90dB 以上）を使用してください。

## ② 冷却ファン

本機内部を冷却するためのファンです。

**注意**

冷却のための通風口ですので、塞がないでください。

## ③ 受信用アンテナコネクタ (RX ANT)

市販のデュプレクサーまたは、受信周波数に適合したアンテナを接続します。

**注意**

デュプレクサーは、送信・受信の相互干渉がないもの（減衰量 90dB 以上）を使用してください。

## ④ ヒューズホルダー (バックアップ電源用)

バックアップ電源端子のヒューズ (10A) です。

## ⑤ バックアップ電源端子 (BACKUP)

バックアップ用の DC 13.8V 電源 (充電式バッテリーなど) を接続します。

停電などで AC 電源が停止した場合でも、自動的にバックアップ電源に切り替わり本機を動作させることができます (7 ページの「バックアップ電源の接続」参照)。

## ⑥ ヒューズホルダー (AC 電源用)

AC 電源端子のヒューズ (5A) です。

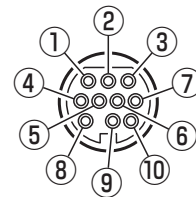
## ⑦ ACC ジャック

付属の PC コネクションケーブル SCU-20 でパソコンと接続する端子です。

◎ 必ず本機の電源をオフにしてから接続してください。

◎ SCU-20 を使用する場合は、パソコンに専用のドライバーをインストールする必要があります。ドライバーとインストールマニュアルは、当社ウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

**注意**



1	PKD (パケットデータ入力)
2	GND
3	PSK (PTT)
4	RX 9600 (9600bps パケットデータアウトプット)
5	RX 1200 (1200bps パケットデータアウトプット)
6	PK SQL (スケルチ制御)
7	TXD (シリアルデータアウトプット [本機 → PC])
8	RXD (シリアルデータ入力 [本機 ← PC])
9	CTS (データ通信制御)
10	RTS (データ通信制御)

## ⑧ CONTROL I/O コネクタ

外部機器との接続に使用します (14 ページの「リモート操作」参照)。

## ⑨ AC 電源端子

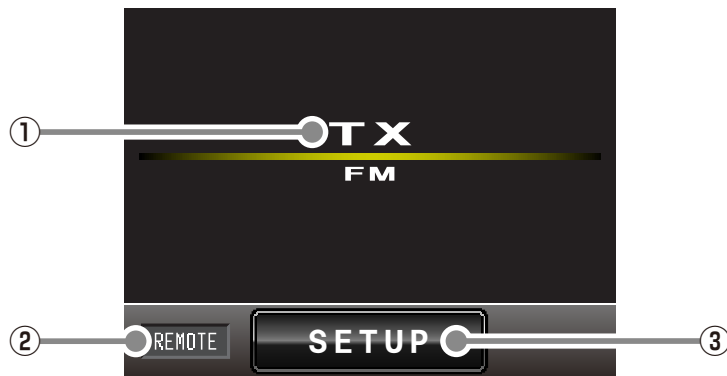
付属の AC 電源ケーブルを使用して、AC100V に接続してください。

## ⑩ GND 端子

できるだけ太い線材を使用し、最短距離で接地してください。

# ディスプレイの説明

## 初期画面（レピータモード）



### ① TX インジケータ

送信時は赤色の表示に変わります。

### ② REMOTE

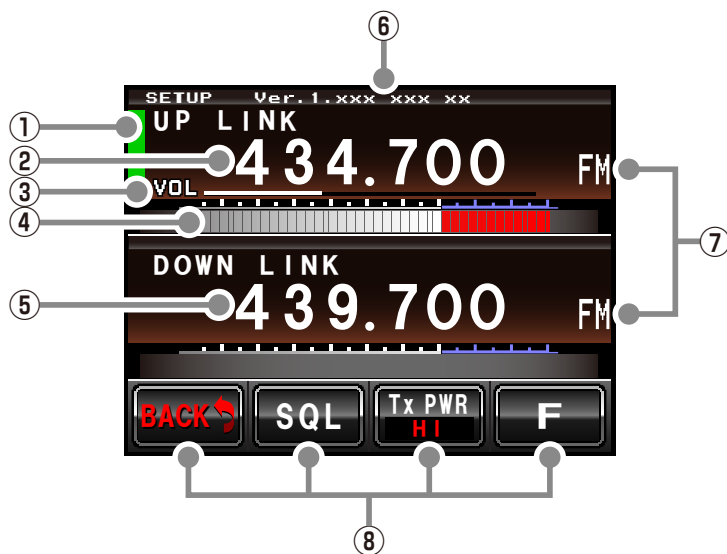
リモート機能がオンのときは“REMOTE”の文字が赤色で表示されます。

他の無線機から送信禁止操作を行った際は“REMOTE”の文字が赤色で点滅します。

### ③ SETUP

タッチすると、周波数設定、スケルチレベル設定、送信出力設定、セットアップメニュー画面表示が行えるセットアップ画面が表示されます。

## セットアップ画面



### ① 受信インジケータ

信号を受信すると緑色のバーが表示されます

### ② UP LINK（受信）周波数

UP LINK（受信）周波数を表示します。

周波数を変更する時は、この部分をタッチします（13ページの「周波数を設定する」参照）。

### ③ 音量 / スケルチレベル表示

音量またはスケルチレベルを表示します。

### ④ Sメーター

信号強度をバーグラフで表示します。

# ディスプレイの説明

## ⑤ DOWN LINK (送信) 周波数

DOWN LINK (送信) 周波数を表示します。

周波数を変更する時は、この部分をタッチします (13 ページの「周波数を設定する」参照)。

## ⑥ ファームウェアバージョン表示

ファームウェアのバージョンを表示します。

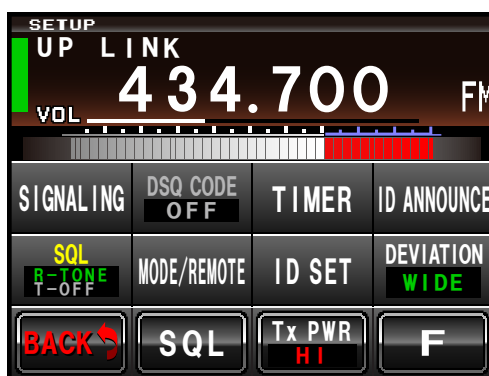
## ⑦ 通信モード表示部

電波型式 “FM” を表示します

## ⑧ タッチキー表示部

BACK	一つ前の画面に戻ります。
SQL	スケルチレベルを設定します (13 ページの「スケルチを設定する」参照)。
Tx PWR	送信出力を設定します (13 ページの「送信出力の設定」参照)。
F	各種機能の設定を行うセットアップメニュー画面が表示されます。

## セットアップメニュー画面



設定したい項目にタッチすると、設定画面が表示されます (18 ページの「各種設定」参照)。

SIGNALING	TONE SQL FREQ		トーン周波数の設定*
	DCS CODE		DCS コードの設定*
SQL	RX SQL		UP LINK のトーンシグナルタイプ (“TONE” または “DCS”) の設定*
	TX SQL		DOWN LINK のトーンシグナルタイプ (“TONE” または “DCS”) の設定*
DSQ CODE	-		設定を変更することはできません。
MODE/REMOTE	REMOTE		リモート操作のオン / オフ設定
	TX INHIBIT		送信禁止のオン / オフ設定
	DISPLAY TIMER		自動で画面表示をオフにする時間の設定
TIMER	TOT		連続送信可能時間の設定
	SQL HYSTERESIS		スケルチ開閉レベル差の設定
	SQL TAIL LENGTH		DOWN LINK 送信停止タイミングの設定
ID SET	-		ID (コールサイン) の登録
ID ANNOUNCE	ANNOUNCE	ANNOUNCE MODE	ID (コールサイン) のアナウンスモード設定
		ANNOUNCE LEVEL	ID (コールサイン) のアナウンスレベル設定
		CW ID SPEED	CW ID の送出スピードの設定
	INTERVAL		ID (コールサイン) のアナウンス送出間隔の設定
DEVIATION	-		変調レベルの設定

※：レピータ局では UP LINK のトーン信号 (周波数 88.5Hz) のみ認められています。

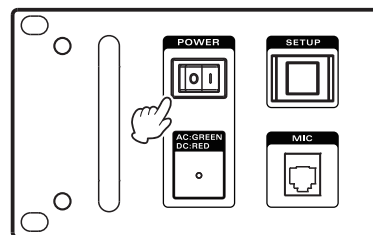
88.5Hz 以外のトーン周波数や DCS には変更しないでください。

# 基本操作

## 本機の電源をオン / オフする

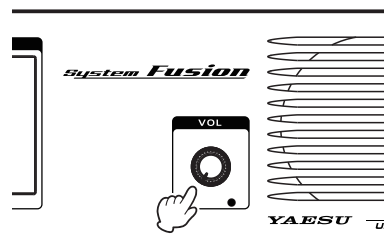
電源 (POWER) スイッチを“I” 側にすると、本機の電源がオンになります。

“O” 側にすると電源がオフになります。



## 受信 (アップリンク) 音量を調節する

VOL ツマミをまわして音量を調節します。

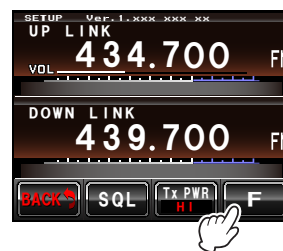


## ID (コールサイン) を登録する

お買い上げのあと初めて電源を入れたとき、または本機をリセットしたあとは、必ず自局の ID (コールサイン) を入力してください。

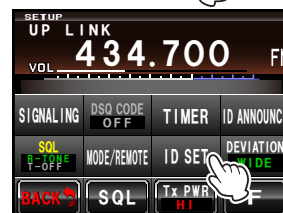
1. [F] にタッチします。

セットアップメニュー画面が表示されます。



2. [ID SET] にタッチします。

ID 入力画面が表示されます。



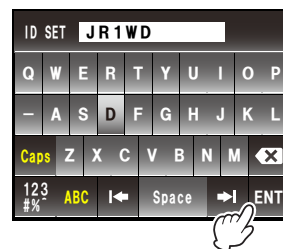
3. 画面上の英数字をタッチして ID (最大 10 桁) を入力します。

[123#%^] にタッチすると、数字・記号入力画面が表示されます。

[ABC] にタッチすると、アルファベット入力画面が表示されます。

[X] にタッチすると、カーソル左側の文字を消去します。

[←]/[→] にタッチすると、カーソルをそれぞれの方向に移動させることができます。



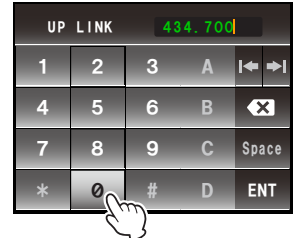
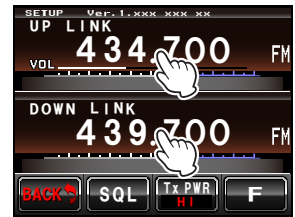
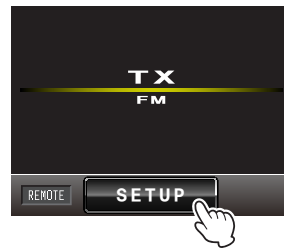
4. [ENT] にタッチすると、入力した ID が設定されます。

セットアップメニュー画面が表示されます。

5. [BACK] に2回タッチすると初期画面に戻ります。

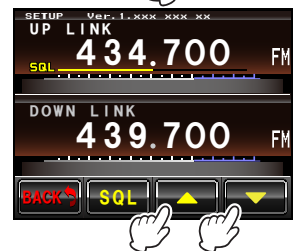
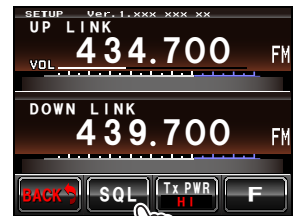
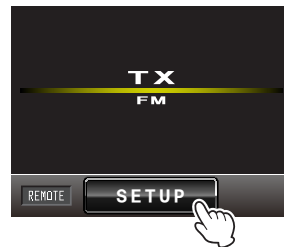
## 周波数を設定する

1. [SETUP] にタッチします。  
セットアップ画面が表示されます。
2. “UP LINK” (受信) または “DOWN LINK” (送信) の周波数表示部にタッチします。  
周波数入力画面が表示されます。
3. 画面上的数字をタッチして、周波数を入力します。  
[X] にタッチすると、カーソル左側の数字を消去します。
4. 10kHz の桁まで入力するか [ENT] にタッチすると、周波数が設定され  
セットアップ画面に戻ります。  
入力途中で [ENT] にタッチすると、カーソル以降の桁が “0” に設定されます。
5. [BACK] にタッチすると初期画面に戻ります。



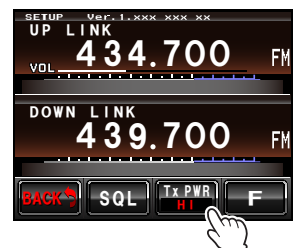
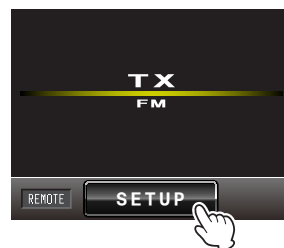
## スケルチを設定する

1. [SETUP] にタッチします。  
セットアップ画面が表示されます。
2. [SQL] にタッチします。
3. [▲] または [▼] にタッチして、スケルチレベルを設定します。  
レベルはバーメーターで確認できます。
4. [BACK] にタッチすると、スケルチレベルが設定され初期画面に戻ります。



## 送信出力の設定

1. [SETUP] にタッチします。  
セットアップ画面が表示されます。
2. [Tx PWR] にタッチして、送信出力を選択します。  
タッチするたびに、送信出力が切り替わります。  
LO (1W) ⇨ MD (5W) ⇨ HI (10W) ⇨ LO (1W)...
3. [BACK] にタッチすると、送信出力が設定され初期画面に戻ります。



# リモート操作

背面の CONTROL I/O コネクタ（15 ピンミニ d-sub コネクタ）を使用して、外部より本機のコントロールを行うことができます。

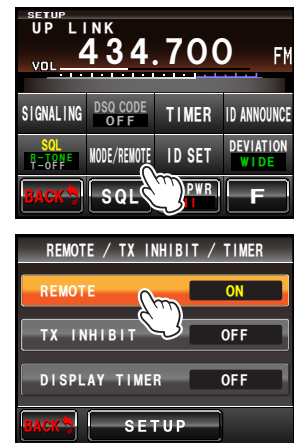
リモート操作を行うためには、下記の操作で本機のリモート操作をオンにしてください。

リモート操作をオンにした時の外部からの操作に関しては、下表を参照してください。

## リモート操作のオン / オフ

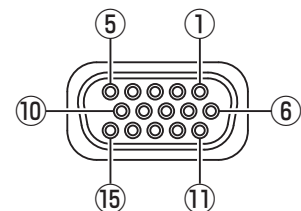
1. [SETUP] ⇨ [F] ⇨ [MODE/REMOTE] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
2. [REMOTE] にタッチして、“ON” または “OFF” を選択します。  
タッチするたびに、“ON” ⇨ “OFF” ⇨ “ON”・・・と切り替わります。
3. [BACK] に 3 回タッチすると、設定が保存され初期画面に戻ります。

**参考** リモート機能がオンのときは、初期画面左下の “REMOTE” の表示色が白から赤に変わります。



外部からのコントロールは、本機背面の CONTROL I/O コネクタ（15 ピンミニ d-sub コネクタ）に市販のケーブルを接続してください。

**注意** パソコンモニター用の VGA ケーブルは使用しないでください。



Pin番号	Pin名称	I/O	動作
1	EXT I/O	Input	[L] GND : リモートモード / [H] OPEN: レピータモード
2	PTT	Input	[L] GND : 送信 / [H] OPEN : 受信 外部PTT制御時のシグナリングについては、以下のようになります。 Pin 6 (TONE IN) : 有効 Pin 7 (AF IN) : 有効
3	CTCSS/DCS (PKSQL)	Output	[L] GND : 一致 / [H] OPEN : 不一致 UP LINK (受信) 信号のCTCSS/DCS設定と、本機のCTCSS/DCSの設定の状態を出力します。
4	SQL DET (Noise SQL)	Output	[L] GND: スケルチオープン / [H] OPEN: スケルチクローズ UP LINK (受信) 信号のノイズスケルチの状態を出力します。
5	GND	GND	GND
6	TONE IN	Input	外部PTT (Pin2) 制御時に、CTCSSまたはDCS入力 (600 Ω、500mVp-p) が有効になります。 このピンへの接続はシールド線を使用し、シールド側はGNDに接続してください。
7	AF IN	Input	外部PTT (Pin2) 制御時に、外部からの音声信号入力 (600 Ω、1.5Vp-p、0~3,000Hz) が有効になります。 ボーレート (通信速度) を1200bpsから9600bpsに変更することができます (22ページの「ボーレート (通信速度) の設定」参照)。 このピンへの接続はシールド線を使用し、シールド側はGNDに接続してください。
8	DISC OUT	Output	UP LINK (受信) のディスクリミネーター出力 (FM検波出力) を出力 (500 mVp-p、0~3,000Hz) します。 このピンへの接続はシールド線を使用し、シールド側はGNDに接続してください。



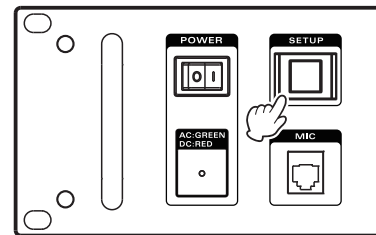
# リモート操作

Pin番号	Pin名称	I/O	動作
9	AF OUT	Output	デエンファシスされたアップリンク信号の音声信号 (300mVp-p) を出力します。
10	GND	GND	GND
11	EXT port 1	—	このピンは使用することができません。
12	EXT port 2	—	
13	EXT port 3	Input	[L] GND : RX Toneオフ / [H] OPEN : セットアップモード
14	EXT port 4	Input	[L] GND : TX Toneオフ / [H] OPEN : セットアップモード
15	VCC	VCC	電源スイッチに連動し13.8V、2.0Aが出力されます。

# 応用操作

## ディスプレイの表示をオン / オフする

1. SETUP ボタンを 1 秒以上押すとディスプレイの表示が消えます。  
タッチ操作も無効になります。
2. 再度 SETUP ボタンを 3 秒以上押すとディスプレイの表示が点灯します。  
タッチ操作も有効になります。

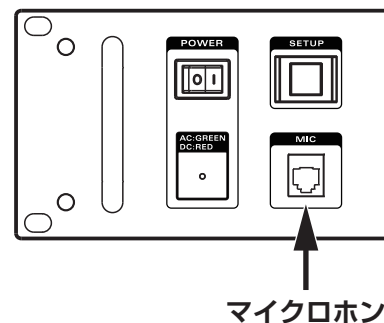


参考

一定時間、操作を行わない場合に自動でディスプレイの表示が消えるように設定することができます（19 ページの「自動で画面表示をオフにする (DISPLAY TIMER)」参照）。

## ベースステーション

パネル面の MIC 端子に、オプションのマイクロホンを接続することにより、直接本機から送信することができます。



## 送信禁止のオン / オフ

本機の送信動作を禁止することができます。

1. [SETUP] ➡ [F] ➡ [MODE/REMOTE] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
2. [TX INHIBIT] にタッチします。  
TX INHIBIT が選択されます。
3. [TX INHIBIT] にタッチして、“ON” または “OFF” を選択します。  
タッチするたびに、“REMOTE” ➡ “ON” ➡ “OFF”（工場出荷時） ➡ “REMOTE” …と切り替わります。

ON	本機の送信動作が無効になります。
OFF	本機の送信動作が有効になります。
REMOTE	他の無線機から本機の送信動作をオン / オフすることができます（17 ページの「外部からの送信禁止のオン / オフ」参照）。



4. [BACK] に 3 回タッチすると、設定が保存され初期画面に戻ります。

## 外部からの送信禁止のオン/オフ

他の無線機から本機の送信動作をオン/オフすることができます。

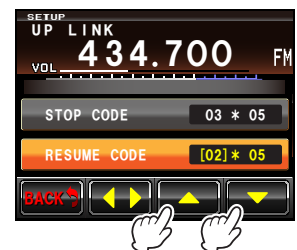
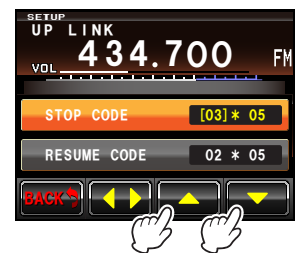
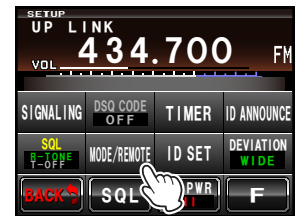
**注意** この操作は、2つの CTCSS トーンを組み合わせたページャー（EPCS）機能に対応した無線機で行うことができます。

### オン/オフ制御コードの登録

- [SETUP] ➡ [F] ➡ [MODE/REMOTE] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
- [TX INHIBIT] にタッチします。  
TX INHIBIT が選択されます。
- [TX INHIBIT] にタッチして、“REMOTE” を選択します。  
タッチするたびに、“REMOTE” ➡ “ON” ➡ “OFF”（工場出荷時）➡ “REMOTE” …と切り替わります。
- [SETUP] にタッチします。  
制御コード入力画面が表示されます。
- [STOP CODE] または [▲]/[▼] にタッチして、送信動作をオフにする際の 1 桁目のコードを選択します。  
本機の RX SQL の設定により、選択できるコードの範囲が制限されます。

本機の RX SQL 設定	選択できるコードの範囲
TONE (67.0Hz ~ 151.4Hz) または DCS	01 ~ 25
TONE (156.7Hz ~ 254.1Hz) または OFF	26 ~ 50

- [◀▶] にタッチしてから [STOP CODE] または [▲]/[▼] にタッチして、2 桁目のコードを選択します。  
1 桁目で選択したコードを選択することはできません。
- [RESUME CODE] にタッチします。
- 手順 5. ~ 6. と同様の操作で、送信動作をオンにする制御コードを選択します。
- [BACK] に 3 回タッチすると、設定が保存され初期画面に戻ります。

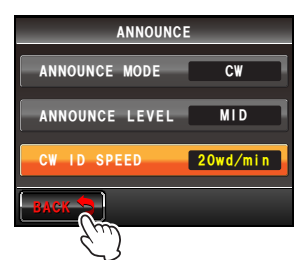
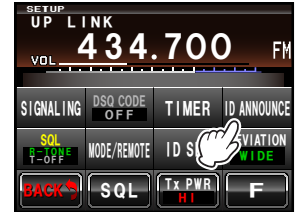
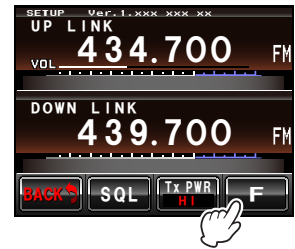
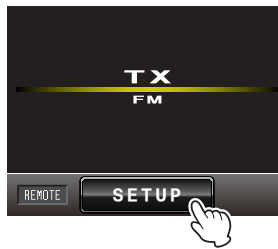


# 各種設定

SETUP (セットアップ) メニューを使うと、本機のさまざまな機能を運用スタイルにあわせてカスタマイズすることができます。

## セットアップメニューの基本操作

1. [SETUP] ⇨ [F] にタッチします。
2. [F] にタッチします。  
セットアップメニュー画面が表示されます。
3. 設定したい項目にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
4. 設定したいメニュー項目にタッチします。
5. 設定を変更します。  
メニュー項目のタッチを繰り返すか [▲]/[▼] をタッチして、設定を変更します。
6. [BACK] にタッチすると、設定が保存されてセットアップメニュー画面に戻ります。  
他の項目を設定したい場合は、続けて手順 3. ~ 6. を行ってください。
7. [BACK] に 2 回タッチすると、初期画面に戻ります。



### リモート機能のオン/オフ (REMOTE)

14 ページの「リモート操作のオン/オフ」を参照してください。

### 送信禁止のオン/オフ (TX INHIBIT)

16 ページの「送信禁止のオン/オフ」を参照してください。

### ID (コールサイン) の入力 (ID SET)

12 ページの「ID (コールサイン) を登録する」を参照してください。

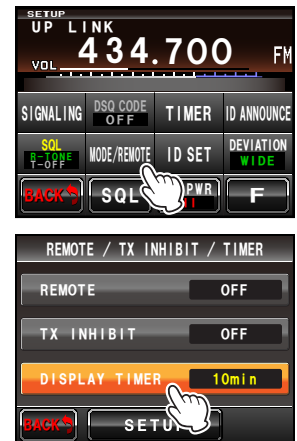
## 自動で画面表示をオフにする (DISPLAY TIMER)

一定の時間何も操作がなかった場合、自動的に画面表示をオフにすることができます。

1. [SETUP] → [F] → [MODE/REMOTE] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
2. [DISPLAY TIMER] にタッチします。  
DISPLAY TIMER が選択されます。
3. [DISPLAY TIMER] にタッチして、画面が消えるまでの時間を選択します。  
タッチするたびに時間が切り替わります。  
“OFF” (工場出荷時)、“1min”、“5min”、“10min”、“30min” から選択できます。

1min ~ 30min	設定した時間何も操作がなかった場合、自動的に画面表示がオフになります。
OFF	画面表示はオフになりません。

4. [BACK] に3回タッチすると初期画面に戻ります。



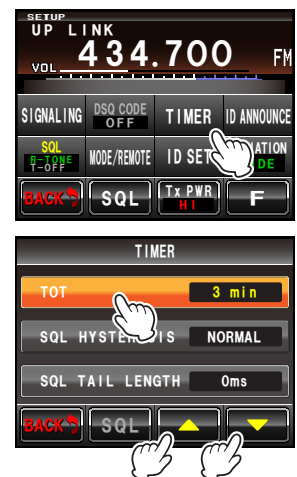
## 連続送信可能時間の設定 (TOT)

送信状態が続いたときに、あらかじめ指定した時間が経過すると自動的に送信を停止します。

1. [SETUP] → [F] → [TIMER] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
2. [TOT] または [▲]/[▼] にタッチして、送信が停止するまでの時間を選択します。  
タッチするたびに時間が切り替わります。  
“OFF”、“30sec”、“1 min”、“1.5 min”、“2 min”、“2.5 min”、“3 min” (工場出荷時)、“4 min”、“5 min”、“10 min” から選択できます。

30sec ~ 10min	設定した時間送信を続けた場合、自動的に送信を停止します。
OFF	送信は停止しません。

3. [BACK] に3回タッチすると初期画面に戻ります。



## スケルチ開閉レベル差の設定 (SQL HYSTERESIS)

スケルチ開閉レベルに差をつけることができます。

1. [SETUP] → [F] → [TIMER] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
2. [SQL HYSTERESIS] にタッチします。  
SQL HYSTERESIS が選択されます。
3. [SQL HYSTERESIS] または [▲]/[▼] にタッチして、レベルの差を選択します。  
タッチするたびにレベルの差が切り替わります。  
“NORMAL” (工場出荷時)、“HIGH”、“MAX” から選択できます。

NORMAL	スケルチ開閉レベルは同じレベルです。
HIGH	スケルチの開くレベルが、閉じるレベルより高くなります。
MAX	HIGH の設定よりも、さらにスケルチの開くレベルが、閉じるレベルより高くなります

4. [BACK] に3回タッチすると初期画面に戻ります。

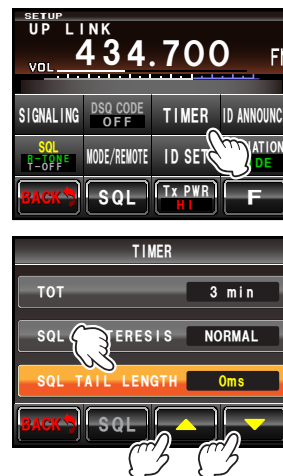


# 各種設定

## DOWN LINK 送信停止タイミングの設定 (SQL TAIL LENGTH)

UP LINK (受信) 信号が無くなってから、DOWN LINK (送信) の送信を停止するまでの時間を設定することができます。

1. [SETUP] → [F] → [TIMER] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
2. [SQL TAIL LENGTH] にタッチします。  
SQL TAIL LENGTH が選択されます。
3. [SQL TAIL LENGTH] または [▲]/[▼] にタッチして、送信が停止するまでの時間を選択します。  
タッチするたびに時間が切り替わります。  
“0ms” (工場出荷時) ~ “500ms” (50ms ステップ)、“500ms” ~ “2500ms” (100ms ステップ) から選択できます。
4. [BACK] に3回タッチすると初期画面に戻ります。



## ID (コールサイン) のアナウンスモード設定 (ANNOUNCE MODE)

ID (コールサイン) のアナウンスモードを設定することができます。

1. [SETUP] → [F] → [ID ANNOUNCE] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
2. [ANNOUNCE] にタッチします。
3. [ANNOUNCE MODE] にタッチして、アナウンスモードを選択します。  
タッチするたびにアナウンスモードが切り替わります。  
“CW” (工場出荷時)、“CW woTONE”、“VOICE”、“VC woTONE” から選択できます。



CW	モールス符号でアナウンスします。
CW woTONE*	トーンおよび DCS を含まないモールス符号でアナウンスします*。
VOICE	音声でアナウンスします。 (オプションのボイスガイドユニット FVS-2 が必要です)
VC woTONE*	トーンおよび DCS を含まない音声でアナウンスします*。 (オプションのボイスガイドユニット FVS-2 が必要です)

※：レピータ局では UP LINK のトーン信号 (周波数 88.5Hz) のみ認められています。

**注意**

“CW woTONE” または “VC woTONE” を選択すると、TOT の時間は “3 min”、INTERVAL の時間は “10min” に固定されます。

4. [BACK] に3回タッチすると初期画面に戻ります。

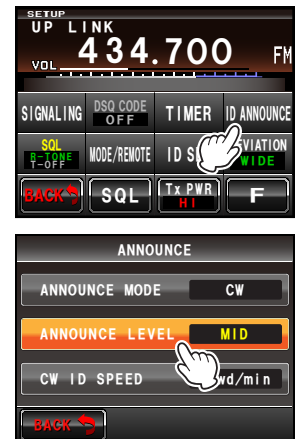
## ID (コールサイン) のアナウンスレベル設定 (ANNOUNCE LEVEL)

ID (コールサイン) をアナウンスする際の音量レベルを設定することができます。

- [SETUP] → [F] → [ID ANNOUNCE] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
- [ANNOUNCE] にタッチします。
- [ANNOUNCE LEVEL] にタッチして、アナウンス送出レベルを選択します。  
タッチするたびにアナウンス送出レベルが切り替わります。  
“HIGH”、“LOW” “MID” (工場出荷時)、から選択できます。

HIGH	高い音量レベルでアナウンスします。
LOW	低い音量レベルでアナウンスします。
MID	中間の音量レベルでアナウンスします。

- [BACK] に3回タッチすると初期画面に戻ります。



## CW ID の送出スピードの設定 (CW ID SPEED)

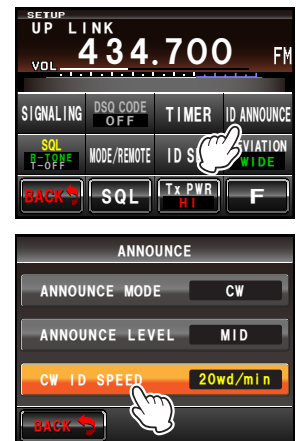
ID (コールサイン) のアナウンスを CW (モールス符号) で送出する際の、送出スピードを設定することができます。

- [SETUP] → [F] → [ID ANNOUNCE] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
- [ANNOUNCE] → [CW ID SPEED] にタッチします。  
CW ID SPEED が選択されます。
- [CW ID SPEED] にタッチして、送出スピードを選択します。  
タッチするたびに送出スピードが切り替わります。  
“16wd/min”、“20wd/min” (工場出荷時)、“24wd/min”、“32wd/min” から選択できます。

参考

wd/min (wpm : Word Per Minutes) とは？  
5文字の単語を1分間に何単語送出するか、ARRL が定めたキーイングスピードの単位基準です。

- [BACK] に3回タッチすると初期画面に戻ります。



## ID (コールサイン) のアナウンス送出間隔の設定 (INTERVAL)

ID (コールサイン) をアナウンスする間隔を設定することができます。

- [SETUP] → [F] → [ID ANNOUNCE] にタッチします。  
メニューリスト画面が表示されます。
- [INTERVAL] にタッチします。  
INTERVAL が選択されます。
- [INTERVAL] または [▲]/[▼] にタッチして、アナウンスの送出間隔を選択します。  
タッチするたびに送出間隔が切り替わります。  
“OFF”、“3 min”、“5 min”、“10min” (工場出荷時)、“15min”、“20min”、“30min”、“TOT” から選択できます。

3min ~ 30min	設定した時間が経過するたびにアナウンスを行います。
TOT	TOT 機能が動作して送信が停止したときにアナウンスを行います。
OFF	アナウンスは行いません。

- [BACK] に3回タッチすると初期画面に戻ります。



# 各種設定

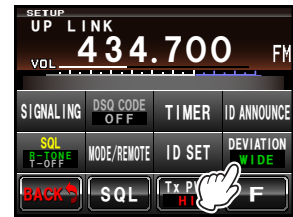
## 変調レベルの設定 (DEVIATION)

変調レベルを通常の約半分にすることができます。

1. [SETUP] ➡ [F] にタッチします。  
セットアップ画面が表示されます。
2. [DEVIATION] にタッチして、変調レベルを選択します。  
タッチするたびに、変調レベルが切り替わります。  
“WIDE” (工場出荷時) ➡ “NARROW” ➡ “WIDE” . . .

WIDE	通常の変調レベルです。
NARROW	変調レベルが通常の約半分になります。

3. [BACK] に2回タッチすると、初期画面に戻ります。



## トーン周波数の設定 (TONE SQL FREQ)

- 注意** レピータ局で使用できるトーン周波数は、88.5Hz のみ認められています。  
88.5Hz 以外のトーン周波数には、変更しないでください。

## DCS コードの設定 (DCS CODE)

- 注意** レピータ局では、トーン信号 (周波数 88.5Hz) のみ認められています。  
DCS の設定は認められていません。

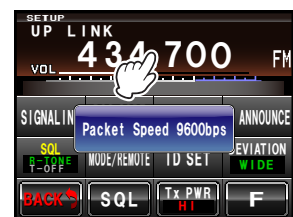
## トーン / DCS の切り替え (RX SQL/TX SQL)

- 注意** レピータ局では、UP LINK のトーン信号 (周波数 88.5Hz) のみ認められています。  
88.5Hz 以外のトーン周波数や DCS への変更および、DOWN LINK のトーン信号や DCS の設定は行わないでください。

## ボーレート (通信速度) の設定

本機背面の CONTROL I/O コネクター7ピン(AF IN)のボーレート(通信速度)を設定することができます。

1. [SETUP] ➡ [F] にタッチします。  
セットアップ画面が表示されます。
2. 周波数表示部にタッチして、ボーレートを選択します。  
タッチするたびに、ボーレートが切り替わります。  
“1200bps” (工場出荷時) ➡ “9600bps” ➡ “1200bps” . . .
3. [BACK] に2回タッチすると、初期画面に戻ります。

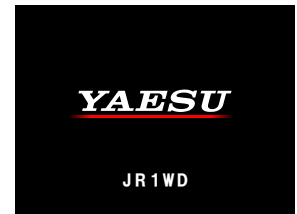
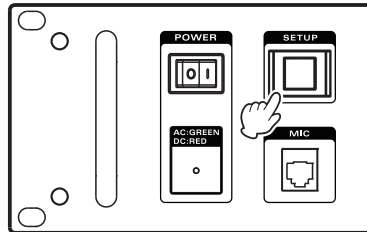




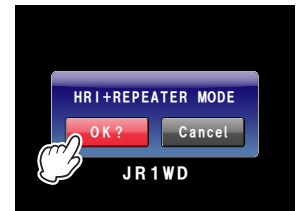
## WIRES-X モードへの切り替え

1. 本機の電源をオフにします。
2. パネル面の SETUP ボタンを押しながら電源をオンにします。

**注意** オープニング画面が表示されたら、3秒以内に SETUP ボタンを離してください。

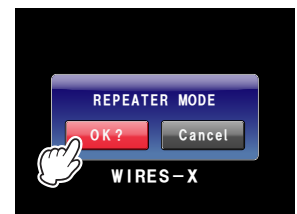


3. 確認画面の [OK?] にタッチします。  
中止したい場合は [Cancel] にタッチします。
4. WIRES-X モードに切り替わります。



5. レピータモードに戻す場合は、再度手順 1. ~ 3. を行ってください。

**注意** 手順 2. でオープニング画面が表示されたら、3秒以内に SETUP ボタンを離してください。



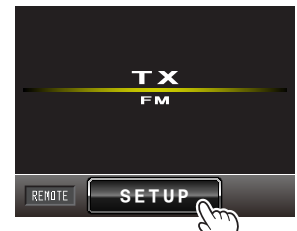
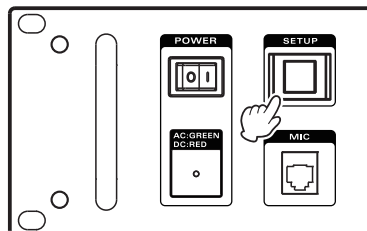
## リセット操作

1. 本機の電源をオフにします。

**注意** 本機が WIRES-X モードの場合はリセットすることができません。  
レピータモードに切り替えてからリセット操作を行ってください。

2. パネル面の SETUP ボタンを押しながら電源をオンにします。

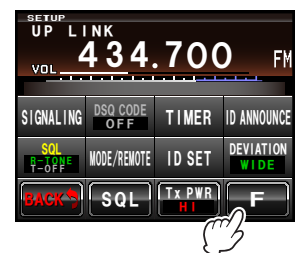
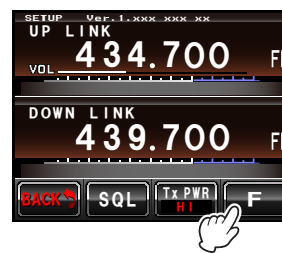
**注意** 初期画面が表示されるまで SETUP ボタンを押したままにしてください。



3. [SETUP] にタッチします。  
セットアップ画面が表示されます。

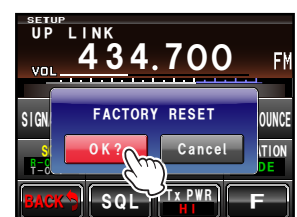
4. [F] にタッチします。  
セットアップメニュー画面が表示されます。

5. [F] にタッチします。  
リセット確認画面が表示されます。



6. [OK?] にタッチします。  
リセットを中止したい場合は [Cancel] にタッチします。

7. 本機がリセットされ、セットアップ画面が表示されます。  
リセット後は、必ずコールサイン (ID) を登録してください (12 ページの「ID (コールサイン) を登録する」参照)。



# ボイスガイドユニット FVS-2 の装着

オプションのボイスガイドユニット FVS-2 を装着すると、音声で ID（コールサイン）をアナウンスすることができます（20 ページの「ID（コールサイン）のアナウンスモード設定（ANNOUNCE MODE）」参照）。

1. 本機の電源をオフにします。
2. 本機に接続している全てのケーブル類を外します。
3. 上面カバーのねじ（15 本）を外して、カバーを外します（図 1）。

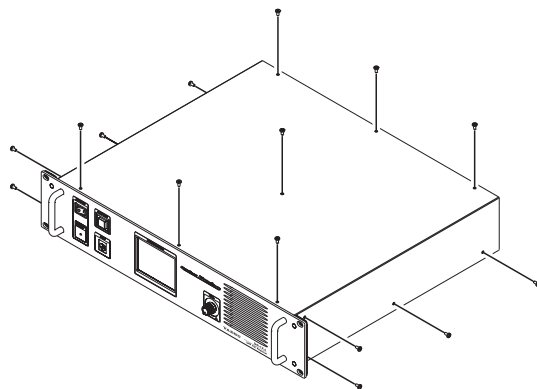


図 1

4. 受信ユニット上面カバーのねじ（4 本）を外して、カバーを外します（図 2）。

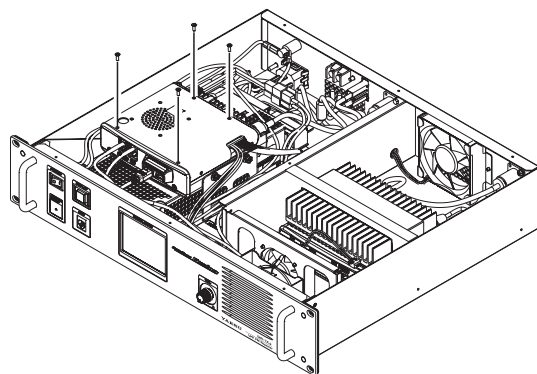


図 2

5. 図 3 で示すコネクタに FVS-2 を取り付けます。

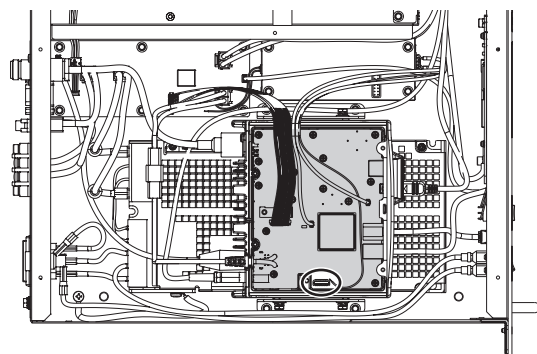


図 3

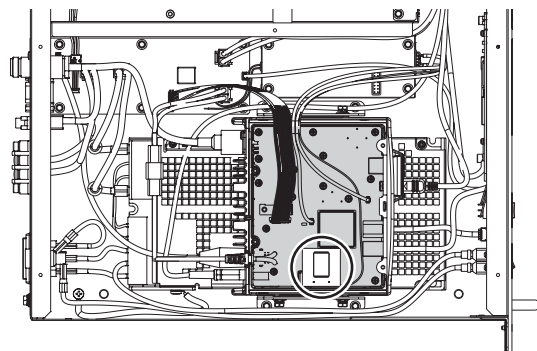


図 4

6. 受信ユニットのカバーと本機のカバーを元に戻します。
7. 外した全てのケーブル類を接続します。

# アフターサービスについて

---

◎ **保証期間はご購入の日から 1 年間です**

本製品には保証書を添付しております。ご購入いただいた日から 1 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理をお引き受けいたします。

◎ **保証書は大切に保管してください**

保証書を紛失された場合は、保証期間中に発生した故障でも、保証期間が過ぎたものとして有償でのお取り扱いとさせていただきます。

また、販売年月日・販売店名などの必要事項が記入されていない保証書は無効として扱わせていただきます。ご購入の販売店名や年月日などが正しく記入されているかご確認ください。

◎ **保証期間が過ぎてからの故障もご相談ください**

修理により機能が維持できる場合には有償で修理させていただきます。ご購入の販売店、または当社カスタマーサポート（下記参照）にご相談ください。

◎ **梱包箱も大切に保管してください**

修理や点検のために本製品を運搬する場合には、運搬中の事故やトラブルを防ぐため、ご購入時の梱包箱をご使用ください。

製品の改良のため、取扱説明書のイラストなどが一部製品と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

## お問い合わせ

八重洲無線株式会社 カスタマーサポート

電話番号 0570-088013

受付時間 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

お問い合わせの際には、本体背面に貼ってあります銘板に記載の製品番号を必ずお知らせください。

# 定格

## 一般定格

周波数範囲	: 430MHz ~ 440MHz
電波型式	: F2A、F2D、F3E
周波数安定度	: ± 2.5ppm 以内 (− 20°C ~ +60°C)
アンテナインピーダンス	: 50 Ω
電源電圧	: AC 100V ~ 240V DC 11.7V ~ 15.8V (マイナス接地)
消費電流	: AC 約 2A (最大) @100VAC DC 約 1.5A (受信時) 約 5A (10W 送信時)
使用温度範囲	: − 20°C ~ +60°C
ケース寸法 (幅×高さ×奥行き)	: 482 × 88 × 380 (mm)
本体重量	: 約 10kg

## 送信部

送信出力	: 10/5/1W
変調方式	: リアクタンス変調
不要輻射強度	: − 60dB 以下

## 受信部

受信方式	: ダブルコンバージョンスーパーヘテロダイン
中間周波数	: 第一 IF 周波数 47.25MHz 第二 IF 周波数 450kHz
受信感度	: 0.2 μV @12 dB SINARD
隣接チャンネル選択度	: 65dB 以上 (20kHz オフセット)
選択度	: 12kHz/35kHz (− 6dB/ − 60dB)
相互変調	: 65dB 以上 (20kHz/40kHz オフセット)
低周波定格出力	: 4W@4 Ω 10% THD (@13.8V 内蔵スピーカー)

定格値は常温・常圧時の値です。

製品改良のため、定格・仕様を予告なく変更する場合があります。

本機の申請方法やレピータ運用についてのご質問は、JARL（日本アマチュア無線連盟）へお問い合わせください。

JARL

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 業務課

〒170-8073

東京都豊島区南大塚 3-43-1 大塚 HT ビル 6 階

TEL 03-3988-8749

## 「レピータ装置変更用工事設計書」について

「レピータ装置変更用工事設計書」は、下記を参考に ■ 部分を記入してください。

第一レピータ装置（取替・増設・撤去・変更（注））

コー ル サ イ ン	電 波 の 型 式	<input checked="" type="checkbox"/> F2A <input type="checkbox"/> F2B <input type="checkbox"/> F2D <input type="checkbox"/> F3C <input checked="" type="checkbox"/> F3E <input type="checkbox"/> F3F	送 出 方 法	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B (その他)
ハン グ ア ッ プ ・ タ イ ム	時 間	2.5 秒以内		
タ イ ム ア ウ ト ・ タ イ ム	時 間	3分	方 式	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C (その他)
変 調 の 方 式	リアクタンス変調		遠 隔 操 作 の 方 法	
終 段 管	名 称 ・ 個 数	RD35HUF2 x 1		<input checked="" type="checkbox"/> 電波 <input type="checkbox"/> 公衆網 <sup>※</sup>
	電 圧 ・ 定 格 出 力	13.8V 10W		<input type="checkbox"/> その他
最 大 周 波 数 偏 移	± 5kHz 以下			
製 造 社 名 等	製 造 社 名	八重洲無線株式会社	型 式	DR-1XJ

※：WIRES-X を接続する場合は□に✓をつけてください。

## 「レピータ局、アシスト局の公衆網との接続に関する届書」について

レピータ局に WIRES-X を接続する場合は「レピータ局、アシスト局の公衆網との接続に関する届書」を届ける必要があります。

届書の「3. 公衆網に接続するシステムの種類」の項目は、以下のように記載してください。

### 3. 公衆網に接続するシステムの種類

#### (1) FM（アナログ）レピータに接続の場合

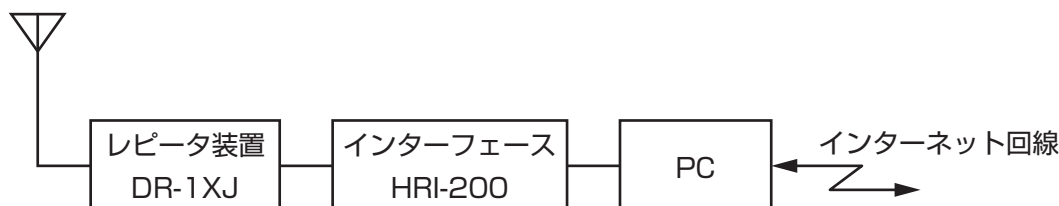
フォーンパッチ（IP 電話を含む）

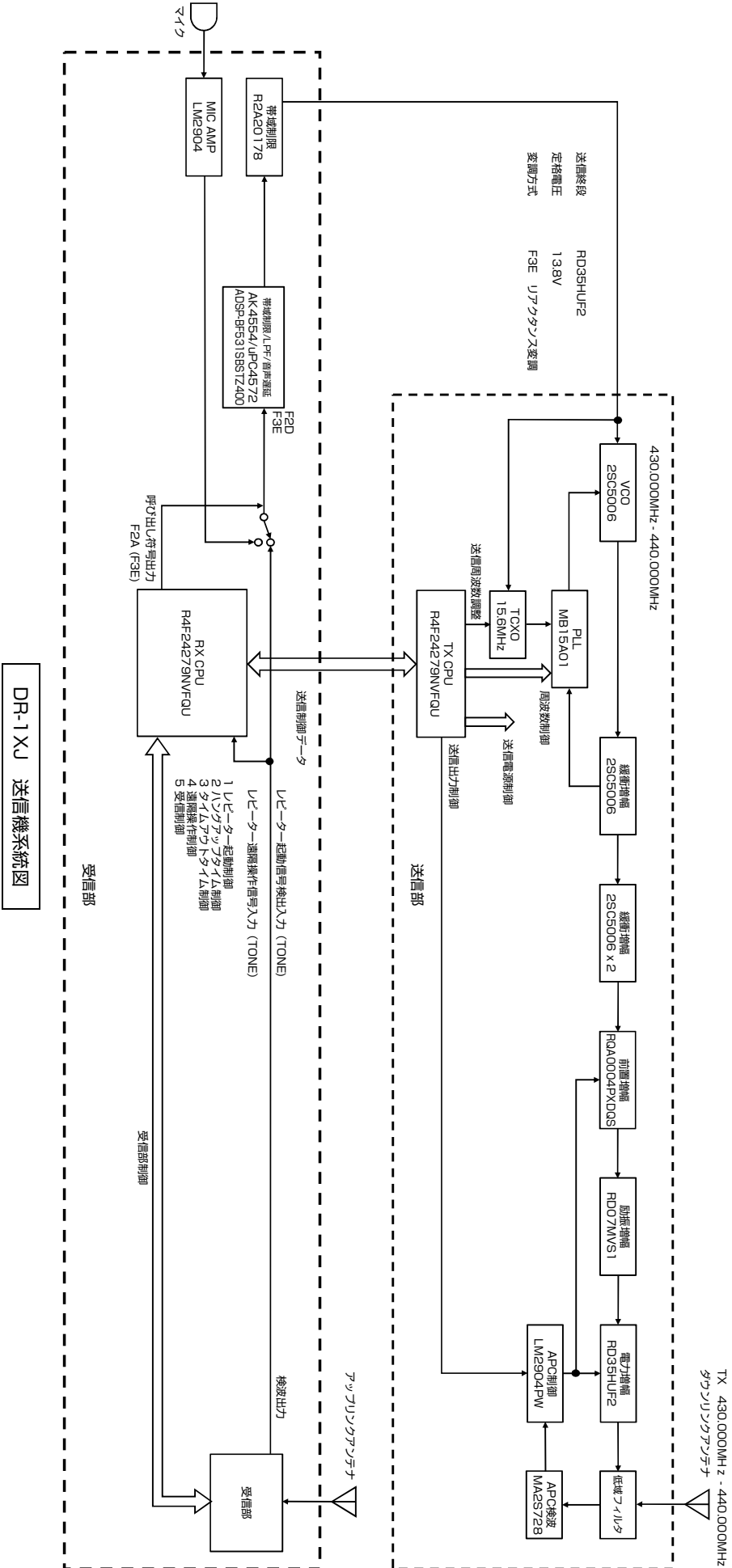
EchoLink  WiRES II  IRLP  eQSO

その他（名称等 **WIRES-X（ノード番号 XXXXX）**）

「第1図 公衆網との接続の概要図」には、以下の図を記載してください。

第1図 公衆網との接続の概要図







# **YAESU**

**The radio**

本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社カスタマーサポートにお願いいたします。

八重洲無線株式会社 カスタマーサポート

電話番号 0570-088013

受付時間 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

---

八重洲無線株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル

---



E H 0 4 3 U 0 0 1

21010-DS

© 2021 八重洲無線株式会社 無断転載・複写を禁ず